

## 「八重山地域とリハビリテーション」

～ 急性期から維持期に行われるリハビリテーションの実際と八重山地域の現状～

WHO(世界保健機関)によると「リハビリテーションとは、能力障害あるいは社会的不利を起す諸条件の悪影響を軽減させ、障害者の社会統合を実現することをめざすあらゆる措置を含むものである。リハビリテーションは障害者を訓練してその環境に適応させるだけでなく、障害者の直接的環境および社会全体に介入して彼らの社会統合を容易にすることを目的とする。障害者自身、その家族、そして彼らの住む地域社会はリハビリテーションに関係する諸種のサービスの計画と実施に関与しなければならない。」となっています。簡単に言うと、「病気やけがによって障害を持った時には、障害者自身と家族だけでなく、地域社会が一体になって、その人を支えなくてははいけない」ということだと思います。

リハビリテーションについて八重山地域を考えると最大の人口を誇る石垣市(人口約 45000 人)でも、PT10 数名・OT5 名・ST1 名しかおらず、各医療機関・介護保険施設のリハビリテーションにおける役割分担も不明確です。その結果、本来であれば回復するはずの人が十分な回復ができずに、病院への入院や施設への入所を余儀なくされているのが現状です。竹富町・与那国町には常駐するPT・OT・STは存在せず、経済的・時間的な問題からほとんどリハビリテーションは行われておらず、石垣市や沖縄本島などの病院・施設での生活が主となり、結果的に「寝たきりの老人が 1 人もいない島」も存在することになっています。

この状況を上記の WHO のリハビリテーションに関する定義にあてはめてみると、八重山地域にはリハビリテーションは存在しないということになります。寝たきりになってもそれまで生活してきた地域で生活できるために、地域社会が一体になって支援を行なう態勢がないからです。

そこで八重山圏域広域リハビリテーションセンターでは、病気やケガが発症した当日からはじまる急性期のリハビリテーションから、必要がある人には生涯にわたって提供される維持期のリハビリテーションまで、他地域では一般に行われているリハビリテーションを概観し、それぞれの時期のリハビリテーションの実際を実例を持って示すことで、八重山地域の課題を明確にし、今後の展望を探るための講演会を下記の通り企画しました。八重山以外では必要な時期に、どのようなリハビリテーションが行なわれており、またそれによりどのような回復をしていくのかについて、できるだけ具体例をあげながらお話して頂こうと考えております。合わせて、来年度大幅な改定が予定されている医療保険・介護保険下におけるリハビリテーションの新しい位置付けについても解説して頂く予定です。

みなさま、お誘い合わせの上、是非とも会場に足をお運び頂き、障害を持って地域で、いきいきと生活していくためにはどうすれば良いのかを一緒に考えてくだされば、幸いです。

尚、平成 14 年度より県の指定を受け、運営してまいりました八重山圏域地域リハビリテーション広域支援センターは、県が来年度、本事業の廃止を決定したことに伴い、本講演会をもって閉鎖いたしますことを合わせてご報告します。

## 記

日 時:2006年3月26日(日)10:00~16:00

場 所:石垣市健康福祉センター 視聴覚室(定員約100名)

対 象:一般市民(ただし、各医療施設・介護保険施設には別途案内を出します)

参加費:無料

プログラム:

10:00~10:15 開会のあいさつ

八重山圏域地域リハビリテーション広域支援センター  
センター長 崎浜 秀一

10:15~10:30 八重山圏域のリハビリテーションの現状

上善会 かりゆし病院 言語聴覚士 矢崎 真一

10:30~12:00 リハビリテーションの理念と概要

埼玉医科大学附属短期大学理学療法学科 学科長 高橋 邦泰 氏

12:00~13:00 昼食休み

13:00~14:00 急性期リハビリテーションの実際

洛和会 音羽病院 作業療法士 津山 努 氏

14:00~15:00 回復期リハビリテーションの実際

慈誠会 徳丸病院 言語聴覚士 尾原 恵美 氏

15:00~16:00 維持期リハビリテーションの実際

訪問看護ステーション リハビリ看護センターフロンティア  
理学療法士 齋藤 秀和 氏

16:00~16:30 沖縄県のリハビリテーションの現状

16:30~17:00 まとめ

(内 容・講 師)

1、リハビリテーションとは

急性期から回復期を経て、維持期に至るまで、場合によっては一生涯、必要となるリハビリテーションについて、機能回復の原理や手技について概説し、さらに新年度から大幅に改訂される医療保険・介護保険下でのリハビリテーションサービスについて解説を行ないます。

講師: 高橋 邦泰 氏

埼玉医科大学短期大学 理学療法学科 教授/学科長、医学博士  
社会福祉法人 毛呂病院副院長、日本リハビリテーション学会専門医  
日本整形外科学会専門医、スポーツ医、リウマチ医  
身体障害者スポーツでの帯同医師、委員歴多数

## 2、急性期リハビリテーションの実際

発症日または発症翌日からはじまる急性期リハビリテーションについて、チームでの取り組みや各スタッフの連携、さらに具体的なケースの紹介を行ないます。これにより、八重山地域に最も不足している急性期リハビリテーションの実情を明らかにしたいと思います。

講師：津山 努 氏

医療法人 洛和会 音羽病院（京都府）

作業療法士/一般病棟係長

## 3、回復期リハビリテーションの実際

発症後、数ヶ月間に集中的にリハビリテーションが行われる回復期リハビリテーション病棟での活動を実例とともに解説します。発症から一定期間中に、1日も休みなくりハビリテーションを行なうことによって機能回復の予後が大きく影響されることが最近証明され、それに基づいたプログラムが展開されています。

講師：尾原 恵美 氏

医療法人 慈誠会 徳丸病院（東京都）

言語聴覚士

## 4、維持期リハビリテーションの実際

医療保険および介護保険改訂において、種々のリハビリテーションサービスがある中で訪問リハビリテーションが手厚い配慮を受けており、今後、この分野の拡大が予想されます。訪問リハビリテーションの内容や施設でのリハビリテーションとの違いなどを、具体的な症例を通して解説します。

講師：齋藤 秀和氏

訪問看護ステーション リハビリ看護センターフロンティア（埼玉県）

急性期病院にて勤務後、有限会社フロンティアを設立し、同訪問看護ステーションを開設。

理学療法士/代表

## 5、八重山地域の現状と課題

上記の活動から見た八重山地域の現状と課題を、シンポジウム形式にて考えたいと思います。